

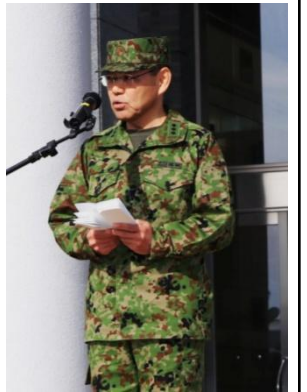
# 新生 富士学校 始動

# 岳友



発行者  
富士学校OB会  
岳友会  
会長 古庄 和裕

## 諸職種協同センターを新編



訓示を述べる学校長

### 新生富士学校の創造へ

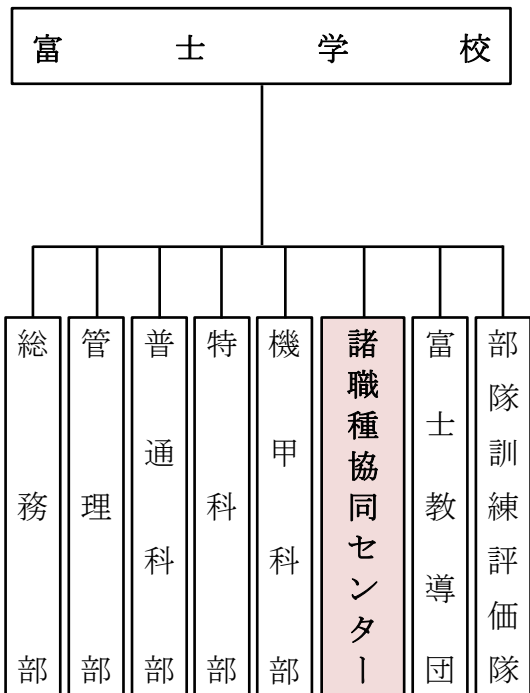
平成30年3月27日(火)、陸上自衛隊 富士学校(学校長 徳田陸将)は、諸職種協同センターの新編に伴い改編行事を実施した。学校長は、諸職種協同センター長(副校長 藤岡将補が兼任)の編成完結報告を受けた後、改編及び意識改革を強く印象付けるセンターを要とした隊形に交換した上で、次のとおり訓示した。

「改編により、富士学校の役割が大きく変わり、業務要領も変わる。正に新生富士学校の創造が本日から始まる。新生富士学校に与えられた二つの役割、「運用研究」と、「職種学校として職種全般の人材育成及び職種部隊の精進化並びに将来の職種ビジョン

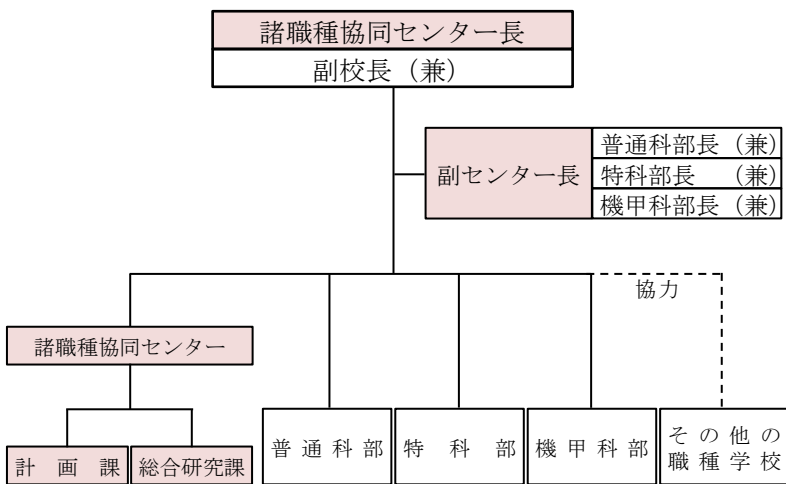
の明確化とその追求」これらを確実に果たすことにより教育の質を向上させ、真に有用な人材を輩出することが新生富士学校の目指す方向である。

そして、これらは縦割りの業務ではできない。諸職種協同センターは、諸職種連合の視点で戦い方を明らかにして教育を統制し、教育と研究と訓練が上昇スパイラルとなるよう各職種部等をリードし、各職種部は、質の高い教育と研究により職種全体をけん引することが必要である。また総務部は、これまでの企画室の業務を企画課として取り込んでこれらを支え、管理部も情報学校新編に伴い幅広くなつた駐屯地業務隊としての業務を背負いながら全体を支えることになる。全隊員が互いに理解し力を結集、学校創設の精神に立ち戻り、明朗闊達和楽の間に進んで難局に当たってゆこう。」

### 富士学校の新たな編成



### 諸職種協同に関わる業務態勢



### 副校長兼 諸職種協同センター長



陸将補 藤岡 登志樹

生年月日 昭和39年生まれ  
出身 福岡県  
学歴 防衛大学校卒(31期)  
主要補職

- ・第38普通科連隊中隊長 (多賀城)
- ・陸幕装備部 装備計画課企画班長 (市ヶ谷)
- ・第41普通科連隊長 (別府)
- ・北部方面総監部防衛部長 (札幌)
- ・中部方面総監部幕僚副長 (伊丹)
- ・第1師団副師団長 (練馬)
- ・富士学校副校長 (富士)

# 情報教育の要「情報学校」新編



訓示を述べる陸幕長



訓示を受ける隊員



情報学校仮設庁舎(新庁舎は3年後完成予定)



校章



初代情報学校長  
陸将補 青木 義昌

昭和38年生まれ  
防衛大学校卒30期

学校長 青木陸将補 着任

情報学校は、各種事態における実効的な抑止及び対処等に対応するための各部隊の新編・改編関連事業の一環として陸上自衛隊の情報機能の充実・強化することを目的として新編された。新編の母体は、小平学校(東京都小平

種情報科職 種の悲願で あった陸上 自衛隊情報 学校が、平成 30年3月27日 誕生した。

市)の情報教育部及び語学教育部であり、その前身は調査学校(平成十三年三月に廃止)である。情報学校は、情報・保全及び、語学に関する教育訓練並びに調査研究を担任する。情報は、戦略情報から作戦・戦闘情報、地形・気象、科学技術等の分野を対象とし、その範囲は宇宙空間からサイバースペースまで幅広い。保全は隊員・部隊等の健全性に資する活動、語学は英語等の共通言語のほか、近隣諸国及びPKO活動等に必要な地域の語学が主なものとなる。(学校本部及び情報に関する教育・研究の施設は富士駐屯地に、保全及び語学に関する教育・研究の施設は小平駐屯地に設置)

着任にあたり情報学校長は、「あらゆる情報ニーズに的確に対応し得る人材を育成していく。」と抱負を述べた。

## 普通科教導連隊 対戦車中隊を廃止

24年間の活躍に幕



普通科教導連隊(滝ヶ原)は、改編により対戦車中隊が平成30年3月27日で廃止となり、中隊旗返還式が行われた。対戦車中隊は平成6年3月28日創隊以来、富士学校の教育・研究支援、特にATMOC・ATMECで全国対戦車マンを育成し、陸上自衛隊の対機甲戦闘力の充実発展に多大な貢献をした。また、総合火力演習を始めとする初発必中・全弾命中の対戦車射撃、各種競技会での優勝、隊務優秀中隊の獲得等の輝かしい成果を挙げた。中隊旗返還式で第12代中隊長が連隊長に歴史を刻んだ中隊旗を返還し、連隊長は、「初発必中の対戦車魂は諸官の心に永遠に燃え続けることと思う。それぞれの職務に精励してもらいたい。」と訓示し、労をねぎらうとともに今後の活躍にエールを送った。

### 第12代対戦車中隊長

1等陸尉 椎屋 誠



伝統と栄光ある普通科教導連隊対戦車中隊は、陸上自衛隊の体制改革により、その歴史に幕を降ろす時が来ました。

中隊が保有していた79HATM、中距離多目的隊及び中隊の隊員は全国の部隊に配置されることとなります。それぞれが対戦車魂を胸に新しい任地で活躍することを期待します。隊員一人一人はこの対戦車中隊で鍛えられた伝統と歴史を生涯忘れることはないでしょう。

### 前任上級曹長

陸曹長 道元 教紀



平成6年3月の中隊創隊時、私は1等陸士で一番若い隊員でした。今まで中隊に所属した隊員は315名です。それぞれの隊員が期間の長短はあるにせよ、普通科教導連隊対戦車中隊の伝統と歴史を作り、つないでいったのだと思うと感慨深いものがあります。

平成6年3月の中隊創隊時、私は1等陸士で一番若い隊員でした。今まで中隊に所属した隊員は315名です。それぞれの隊員が期間の長短はあるにせよ、普通科教導連隊対戦車中隊の伝統と歴史を作り、つないでいったのだと思うと感慨深いものがあります。分を育ててくれた中隊が無くなることは本当に寂しいことです。現職はもとより、OBも同様の気持ちだと思います。しかし、陸上自衛隊の強化のために、全員が新任地において中隊のシンボル、一撃必殺の「サソリ」を胸に秘め、活躍してくれる事と思います。普通科教導連隊対戦車中隊万歳!

編集後記

「一枚岩」



平成30年3月27日、富士駐屯地の正門の部隊銘板が一新されました。本号でお

伝えたとおり、富士学校の改編及び情報学校の新編を契機とするものです。「富士学校」は昭和29年の開設時から富士駐屯地を象徴する部隊です。富士学校隷下にある「富士教導団」及び、かつて隷下にあった装備開発実験隊の血を引く「開発実験団」は数次の改編はありましたが、やはり地元根差した駐屯地の主力部隊の一つです。新編された「情報学校」は、実践に即した教育・研究を実施するために富士学校との連携は必須です。

4つの組織が密接に連携し、盤石な態勢で、正に、「一枚岩」となって教育・訓練・研究のスパイラルを活性化していきたい。そんな願いを固く石に刻んでいきます。

### 「御礼」

「岳友」の紙面による発行は本号をもって終了いたします。これまでの購読ありがとうございます。また、ご購読ありがとうございます。学校HPには「岳友」を引き続き掲載して参りますので、よろしくお願ひいたします。